

さかした 茂樹 坂下しげき県議会リポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

東京ベイ・浦安市川医療センター

救急基幹センターへ期待

東葛
南部

救急医療体制充実に一役



2月定例県議会で一般質問を行う坂下茂樹県議

行徳小学校前交差点に歩車分離式信号機導入



要望が実り、行徳小学校前交差点が歩車分離式信号機

すべての人があん心して生活できるふるさと市川市の実現を願う坂下茂樹県議は、2月定例県議会で質問に立ち、医療環境整備や道路改善、駅ホームドアなどについて、森田知事ら県執行部の考え方を聞きました。かねてから坂下県議が

要望していた市川市の救急医療体制整備について、県の担当部長は「東京ベイ・浦安市川医療センターが救急基幹センターとして承認されば、東葛南部医療圏の救急医療体制のさらなる充実が図られる」と期待感を表明しました。

千葉県救急・災害医療審議会において、議論される予定

県としては、同病院が救急基幹センターに承認されることにより、東葛南部医療圏の救急医療体制のさらなる充実が図られると考えております。

坂下議員 市川市

は県内で4番目に人口が多いにもかかわらず、救命急センターがないため、引き続き検討してほしい。

できれば市の中心部にあるとありがたい。

県道市川浦安線、要望実る



要望が実り、行徳小学校前交差点が歩車分離式信号機

●県政や地元市川市のご相談、ご要望をお寄せください

坂下しげき 県議事務所 TEL.047-318-0055 FAX.047-318-0500

坂下議員 東京ベイ・浦安市川医療センターの救急基幹センターの承認について尋ねる。

私が住んでいる市川市は県内に入口が4番目に多い市だが、救命救急センターが1つもない。

医療体制については、平成24年2月議会、平成26年6月議会において、東京ベイ・浦安市川医療センターを早急に救急基幹センターに承認することを提案したが、これについて、付けて救急基幹センターの承認を見込みや期待される

効果についてうかがう。

保健医療担当部長 東京ベイ・浦安市川医療センターは東葛南部医療圏における二次救急医療機関として、多くの救急患者を受け入れています。

同病院は、本年4月1日

付けで救急基幹センターの承認を希望しており、今後

月議会において質問した通学路に関する道路改良等についてうかがう。

まず、県道市川浦安線行徳小学校前の交差点における交通安全対策について、取り組み状況はどうか。

警察本部長 行徳小学校

前回の交差点につきましては、昨年6月から交通量調査や通学児童の状況、近隣住民の意見等の確認を実施し、必要な交通安全対策について検討を行いました。

その結果、交通渋滞の発生を抑えつつ、右左折する

車両と横断歩行者の事故を防止するためには、歩車分離式信号機の導入が適切であると判断して整備を進めます。本年1月12日から運用を開始したところです。

あります。

坂下県議の信念

責任持った財政運営で 県民が望む政策実現へ

私は、市川市民の方々の貴重な一票一票の積み重ねによって市川市選挙区6議席のうち1議席をお預かりしています。そして、市民の方々の声を 県政に届け、県民のための改革を行うために登壇し質問をさせていただいております。

何度も議会で申し上げていることですが、千葉県政は、国民・県民の方々の汗である血税で運営されております。従いまして、県政を行ふに当たっては、常に県民の声に耳を傾け、現在から将来にわたって責任を持った財政運営を行い、県民が望む政策を実現していくなければならないと思っております。



【中】 嘴執行部に再質問を行う坂下茂樹副議長

狭い歩道、改善が必要

坂下議員 国道14号の本
八幡駅前交差点から市川イ
ンター入口交差点の間の歩
道が非常に狭く、視覚障が

い者の方や車椅子、ベビーカーなどの往来が危険な状況にある。

所本庁舎があり、建て替え工事が行われる。これに合わせて歩道の改善ができるか。

県土整備部長　当該区間

このため、早期に効果的
発現される対策として、
行者の通行に支障となる
柱の移設を進めるとともに、
段差解消が必要な箇所の
道補修を行つてまいります。
今後とも、安全で安ら
く通行できる歩行空間の
保に努めてまいります。

信号間隔が変わったため、電車の停車時間が本庄方面からニッケルトンブランサ方面に右折する車両が減少して渋滞が発生し、改善が必要となつた。この問題を解決するため、以上6つの交差点については、交通の安全と円滑な道路運行状況確保のため、各信号機の並び順を改めた。

市川市内の道路整備要望

国道14号市川駅前交差点→市川インターフェース入口交差点

6交差点の信号機改良を

坂下議員 毎日の生活に

歩道が多くあり、地元の方の

整備について、まとめてうかがう。

まず、市川駅北口にある
駅前交差点は、10路線以上

信号機改良、交差点整備など必要。

のバスが行き交う交通量が非常に多い交差点。しかし、道路が変形していることに加え、右折信号がないこと

二つ目だが、オリンピック前のT字路交差点は、T字路ゆえに車両は右折もしくは左折になる。

18年に市川市議会においても一般質問をした。

がないことから、曲がりづらい交差点となつており改良が必要。

ンタ一入口交差点。市道3
4・18号の供用開始により
交差点形状がT字路からL
字路に変わり、国道14号の

交通状況等を勘案の上、信号の設置や信号サイクルの見直しなどを検討してまいります。

ホームドア設置急げ



安全のためにホームドアの設置が待ちられるJR東日本八幡駅

困難な状況です

このため、県では、国に対し、新たなホームドアの研

人を超える
市川駅、本
八幡駅にお
いて、対応
が困難な原
因はなんか。
総合企画
部長 JR
東日本に確
認したところ、市川駅及び
本八幡駅の各駅停車のホー
ムには、現在、扉が4つの車

両ど6つの車両が混在して乗り入れていることから、今後、車両の更新を進め、この混在が解消した後にホームドアを設置していくことを検討しているとのことでした。また、市川駅の快速列車のホームには、臨時列車として、特急型車両なども乗入れていることから、既存のタイプのホームドアで

は、JR東日本
だけ早期に検
う要望する
にあたっては、
連携し、支援を
たいと考えてい
る」とのこと

線のJA市川原木中山商店
前の道路線形の改良について、平成28年2月議会において質問したが、進捗状況はどうか。

手させていただいたところであります。これまでに現地測量や線形改良の検討を実施しております。来年度は道路詳細設計を行うこととしています。今後とも、市川市など関係機関と協議を図るとともに、地元の皆様の御理解と御協力を得ながら、事業の推進に努めてまいります。

市川広小路交差点の北側直近交差点

坂下議員 平成28年6月議会で質問した市川広小路交差点の北側直近交差点における道路等の改善について、検討状況はどうか。

減少による渋滞を緩和するための改善が必要となつておられます。これまでに、交通量調査や概略検討及び現地測量を実施しており、来年度は、交差点の詳細設計を行つこととしています。

機関と調整を図りながら
渋滞の早期改善に努めてま
いります。

ネット利用のア 幅広い世 調査協力

ネット利用のアンケート調査 幅広い世代から 調査協力員募集

利用者が10万人を超える駅があり、その他にも市民が多く利用する駅がある。市民の安全を守るために、早急にホームドアを設置する必要があると思う。

**オストメイト対応トイレ
設置、市町村に働きかけ**

とともにオストメイト対応トイレの設置やストーマ装具などの日常生活用具の備蓄について、関係部局と連携して働きかけてまいり

に^{して}補助制度により積極的に支援を行つてお
り、この制度では、オス
トメイト対応トイレの整
備についても補助対象とし

本年2月1日現在 143名の方に調査協力員として登録していただいております。

平成29年4月1日(土曜日)

市町村と連携して整備の促進を図る必要があるが、具体的にどのようなケジメ、ル、方法で行くのか。

総合企画部長 ホームドア
アについては、ホームの補強工事も必要となる整備費用が多く額となることや、車両により車の位置が異なる場合に対応が難しいこと、などの

坂下議員 オストメイトの方が深刻に悩まれていることの一つは、外出先での排泄物であるとされており、オストメイト対応トイレの存在が極めて重要になる。

そこで、オストメイト対応トイレの普及並びに災害時の日常生活用具の備蓄についてお尋ねいたします。

ついで、市町村と連携し早急に対応すべきと考えがどうか。

また、トイレは災害にも使用できるが、県で観光地のオストメイト応トイレの普及・促進どのように取り組んでいいのか。

健康福祉部長 県では、現在、県内の公共施設におけるオストメイト対応トイレスの設置状況と災害に備えたストーマ装具の保管場所の提供状況について、調査を行つてゐるところです。

坂下議員 前広便座の設置を含めて、普及を図つてます。

在地明示
オストメイト対応トイレの普及について、働きかけを続けてまいります。

また、公式観光サイトまるごとe-ちばにおいて、関係団体とも連携し、県内約370か所のオストメイト対応トイレの位置情報などを案内するとともに、市町村や観光関係者に対して、整備事例を示し、普及啓発に努めています。

50歳以上の方方が中心になつてゐることから、今後は若い世代をはじめ幅広い世代の多くの県民の方に参加・協力していただけるよう、県民だよりや県が提供する各種のメールマガジンなどを活用して、積極的な広報を行つてまいります。